

科目名	心理学研究法Ⅱ					単位	2.0
担当教員	繁昌 成明						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	2321

●授業のテーマ
心理学研究法Ⅱ

●到達目標
心理学で用いる実験法、観察法、調査法などの基礎的な知識の学習を目的とする。

●学習内容(授業概要)
心理学の研究領域は広く、研究結果には客観性・妥当性・信頼性・再現性・実証性が求められる。心理学研究法Ⅰを基礎に、心理学研究の歴史の変遷を概観し、倫理と仮説検証の実験的研究および現場に生かす実践研究の方法と論文作成について学習する。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 心理学における研究と心理学研究の歴史
2. 実験法：観察・面接・調査・実験
3. 心理学実験の限界と倫理
4. アセスメントと人間理解
5. 行動観察法：自然観察法・構造的観察法・実験的観察法
6. 尺度水準：名義尺度・順序尺度・間隔尺度・比率尺度
7. 質問紙調査法・面接調査法
8. フィールドワークと研究法
9. 福祉臨床における協働研究
10. 心理検査と研究法：個別式知能検査・神経心理学的検査
11. 実証的研究
12. 心理統計法の意義
13. 心理学研究法と研究報告
14. 研究論文の形式と書式
15. まとめ：研究論文と研究発表

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、予め、テキストで調べて授業に臨むこと。また、授業後は、授業の要点をまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

総合評価。出席状況および定期試験を総合して評価する。

●テキスト(必携)

指定なし。適宜プリントを配布する。

●参考文献／その他

「心理学研究法入門」（東京大学出版会）

「新版 要説 心理統計法」（北大路書房）

●履修上の注意

飲食物の持ち込み、私語、携帯の使用など、他の受講生に迷惑のかかる行為は慎むこと。学習は「one for all, all for one」の精神で。